



## あけまして おめでとうございます

初めに、この度の能登半島地震により被災された皆様にお見舞い申し上げます。

そして翌日の羽田空港事故。お正月からとても心配なニュースが続き、戸山幼稚園の子どもたちは？ご家族は？皆様、元気で過ごしていらっしゃるかと胸の詰まる思いでした。こうして再会できますことが心から嬉しく、安心しております。皆様は、どんなお正月を迎えられましたでしょうか。笑顔いっぱい、穏やかな楽しいお正月をお迎えになられたご家族も多いことでしょう。とはいえ、被災地ではまだまだ不安定な日々を過ごしていらっしゃる方々や、家や大切な人を失くして悲しみに暮れている方がいることを覚えます。

一日も早く、平穏が訪れますようにお祈りすると共に、改めて私たちの日常を大切に過ごせるよう努めてまいります。どうぞ2024年も笑顔で、健康に過ごしていきましょうね！

本年もよろしくお願いいたします。



それでは、2学期の終わりの取り組みを少し振り返ってみましょう。子どもたちはクリスマス会を経て、どんな風に成長したのでしょうか。係のお母様方を筆頭に、父母の会の皆様のご協力のもと、無事に会を開くことが出来まして、心から感謝しております。インフルエンザの流行によりお休みの子がいたのは残念でしたが、心をひとつに取り組んだ子どもたちです。

### <ゆりぐみ>

今年のゆりさんは、ページェントができることを心から喜び、張り切って取り組んでいました。こんな風に年長としての誇りを抱えながら人前に立てる子どもたちになるなんて…と、これまでの2年間を思い出しては感激する保育者でした。自分たちで決めた役です。一番なりたかった役になった子も、譲った子もいました。それらを決定するには一筋縄ではいかず、葛藤を抱え、心を揺らしながら相談しました。他園では、保育者が配役を行うことも多くあります。しかし戸山幼稚園の子どもたちは、日々の保育の中で互いを知り、己を知って大きくなってきました。そして毎日自分たちの心を大きく動かして、意思を持って過ごしています。そんな子どもたちの力を保育者が図り、決めてしまうなんてもったいないことできるはずがありません。だからこそ、ページェントというお話の大切さ、役割の偉大さを知って自分たちのページェントとしてあの喜ばしい表現が見られたのだと思います。力を合わせて取り組んだ素敵なページェントでした。本当にかっこよかったですね！ゆりぐみさん、ありがとう♡



### <さくらぐみ>

さくらさんは2学期でたくさん力を付けてくれました！いつも控えめで慎重だった昨年とは大きく変わって、面白いことを考えたり、自分のアイデアを発信したり、友だちと協調することを喜んだり…年中らしい自己主張をしながらも、集団の一員である自分に気付き、楽しむことが出来るようになりましたね！だからこそ、このクリスマス会で、年中の自由性、想像性が詰まったお話を作り上げる活動は大いに意味を持つのです！

毎日遊びの延長の中で、気付いたら劇が出来上がってしまったことを自信に変え、誰かに見せよう！と声上がる主

体性。戸山幼稚園の目指している、遊びながらにして育つという形を見せてくれたさくらさんが誇らしいです😊自分たちで決めたことだからこそ次の楽しさを見出し、衣装を作ったり表現を膨らませたりできるのです。恥ずかしい気持ちも、友だちがいると乗り越えられる、そんな経験を積んださくらさんだったと思います！

### <ちゅうりっぷぐみ>

1学期から大好きだった「3匹のこぶた」のお話だったので、みんなの役でもこなせるほど、遊びながらセリフや動きを習得してしまっていたちゅうりっぷさんでした。オオカミになりきって友達を追いかけたり驚かせたり、こぶたになりきって「キャー！」と走るのを楽しんだり、3歳らしい可愛い表現がたくさんありましたね。お面やお家が出来ると、どんどんイメージが膨らみ表現に拍車がかかりました！年少さんにはやはり、「誰かのため」の活動よりも“自分が楽しめる”ことが大事です！もちろん、人前に立つのは恥ずかしかったり、突然オオカミがやられてしまう場面が嫌になったり、それぞれに主張があり、本番までどうなることやら…😓な保育者でしたが、どの子も自分なりの参加方法で全うすることができたことを嬉しく思います。お友だちと声を合わせたり歌ったりする心地よさを感じて頑張ったちゅうりっぷさん♪来年の成長も楽しみです😊

さあ、いよいよ3学期がスタートいたします！！3学期はとても短く、駆け足で通り過ぎていくように感じます。卒園を控えた子どもたちと過ごす時間を大切に、進級する子どもたちの気持ちを受け止めながら、色々な体験や発見を重ねていけるように保育に臨んでまいります。そして、様々な驚きや喜びに共感し合ったり、助け合ったりして、より豊かな経験を積み重ねて参りたいと思っております。

### 3学期の子どもたちの『自己充実期』

この先の子どもたちは、自己を充実させるとき！仲間と一緒に楽しい！と感じながら生活や遊びを進めていけるようになっていきます。そして理解力や認識力が増し、試行錯誤しながら仲間とじっくり遊ぶ姿が見られるようになります。また行事や様々な取り組みを通して“達成感”や“満足感”を味わいながら、自信を持って遊びや生活を充実させていきます！各学年、その年齢に合った充実のさせ方で、友だちと一緒にすることの楽しさを十分に味わい、友だちの存在や良さを認め合って、何事にも主体的に取り組むことで『自立』に向かって歩み始めていきます。ついに1年の集大成ですね！

さあ、そんな『自立』に向かって歩み始めている子どもたちに、私たち大人はどんな関わりをしていけば良いのでしょうか。「子ども自身が自分で行動し、試行錯誤しながら学んでいく時」なので「子どもが自分でする」という姿を見守る事が大切になってきますね！！『口も出さず、手も出さず、自分で出来たという自信が持てるように見守る』…これが、とっても難しいのです😓少々時間はかかると思いますが、見守る姿勢で根気強くお願いします！（特にちゅうりっぷのお母様方は頑張らしましょう！）そして、出来たときは大いに認めてあげましょう♡認めの言葉は子どもたちの自信に繋がり、次に挑戦しようとする意欲に変わっていきます！具体的、以下を意識して実践していきましょう😊

- その1、自分の持ち物は自分で持たせましょう！
- その2、「いってらっしゃい」のおおかれは、門の前でしましょう！
- その3、つつい、口も手も出て手伝ってしまうので、口も手も出さずに、「自分のことは自分ですべき！」という姿勢を貫きましょう！



もう既に実践されている方が多いと思いますが、1つでも思い当たったら試みてください。親御さんにとっては「強い意志と行動力」が必要になるかもしれませんが、子どもたちの力を信じ、任せる機会を増やしてあげてください。ただ、もちろん個々のペースもありますので、気になることはお気軽にお声がけくださいね♪